

様式2	令和2年度 清瀬市立清瀬第四中学校 学校評価表	
学校教育目標	人間尊重の精神に徹し、自己の能力伸長と人間形成に努める人を育成する。 1創造 2温情 3実践 4健康	育成を目指す資質・能力及び特色ある教育活動
目指す学校像(ビジョン)	【目指す学校像】 生徒が学校に来ることが楽しいと思える、一人一人が生きて学び合う学校。 【目指す児童・生徒像】 自ら進んで学ぶことができる、心温かい、実践力のある、健康な生徒。 【目指す教師像】 生徒一人一人に確かな学力を身に付けさせることができる、教育に情熱をもち、生徒と共に成長しようとする教師。	【育成を目指す資質・能力】 コロナ禍においても取り組める対話活動の模索と運用 ※学校休校期間(2カ月)と今後のコロナウイルス感染症第二波による新たな休校期間に備えるため ◎知識・技能を最優先に教育活動を推進する。 ○「対話的」な授業において、ミニホワイトボードを使用しての対話的な授業を展開する。 ○校内研修を通して、教職員のファシリテーションの能力をさらに高める。
前年度までの学校経営上の成果と課題		

柱	具体的方策	自己評価		学校関係者評価	次年度以降の改善方策	
		評価	課題及び次年度以降の改善方策(案)	学校関係者による「自己評価」についての評価	学校関係者評価の結果を踏まえた改善方策	
確かな学力の向上	・漢字、計算、スペリングの定着を図るためのテストを実施する。	4	3	漢字コンクール、計算コンテスト、スペリングコンテストを実施した。生徒の達成率も平均70%を越え、基礎的・基本的な学力がしっかりと身に付いてきた。	学力が高い四中になった。基本的な力を地道に身に付けることが大事である。GIGAスクールの時代がやってくるが、書いて覚える学びは今後も必要である。	書いて覚える、本来の学習の在り方を見落とさずに、今後のGIGAスクールとともに学力向上を進めていく。
	・各単元に1回、個→グループ→個など、「一人で考える」と「対話的に考える」授業を設定する。	4	3	マスクをしながら、大きな声を出さないうえ、対話的な授業を試みた年度であった。ホワイトボードを活用して、極力しゃべらない、簡潔に表現する力を身に付けた。また、振り返りの時間を設定し、深い学びにつなげるよう各教科が努力した。	くしゃみをして不織布のマスクであれば、飛沫は飛ばないので、話し合いの活動は継続してやるべきであろう。	グーグル・クラスルームを使用して、活発に意見交換が行え、深い学びにつながるよう教員に操作方法を学ばせる。
豊かな心の育成	・25時間のうち、各学期に2回以上は議論する道徳の授業を行う。 ・授業の中で変容を認め、励ます評価を行う。	4	3	ほとんど毎回、議論(討論)する形式で道徳授業を試みってきた。変容に関しては、生徒指導の回数も減り、いじめも激減し、極めて良好な学校生活が成立している。	生徒の授業の様子(ホワイトボードを使うなど)は、ホームページを見てよくわかる。情操教育が学校全体にいい成果をあげている。	グーグル・クラスルームを使用して、議論が行えるよう教員に操作方法を学ばせる。
	・教員が率先して、挨拶や適切な言葉遣いを励行する。迷惑をかけるような場面では、厳しく、粘り強い指導をしていく。	4	4	毎週月曜の朝、生活委員会を中心に挨拶運動を行ってきた。教員も率先して生徒に挨拶をしている。来校する方は減少しているが、それでも来校者に会えば、生徒は元気な挨拶をしている。	地域において子どもたちのあいさつはとも立派である。すばらしい成果があがっている。	生徒のあいさつが校舎内に大きく響き渡るよう、今後も継続指導する。
健やかな体の育成	・規則正しい生活習慣(早寝早起き)	3	2	本鈴(8:35)で遅刻する生徒はほとんどいない。朝読書の時間(8:30)を目指して生徒は登校する。朝食もほとんどの生徒が食べて登校している。	家庭における教育力が低下していないのでほぼ安心した。	家庭との連携で今後も規則正しい生活習慣の確立を継続指導していく。
	・技能の向上を目指し、大会等を通して練習を積み上げる。	1	1	今年度は10月、11月に市内のみの新人大会等が実施されただけであり、十分な練習、活動ができず、実りの少ない結果となった。	部活動の種目にもよるが、基本的な運動はできたのではないが。部活動ができないのはやむを得ない。	例年通りに全教員が顧問として部活動に当たる。緊急事態宣言下において、工夫したランニング時間を放課後に設定する。
特別支援教育の充実	全教員が授業の始めに、授業の「ねらい」を明示し、終わりには「振り返り」の時間を設ける。	4	4	ほとんどの教員が授業の始めに「ねらい」を提示し、授業の道筋を明確にしている。深い学びに必要な「振り返り」の時間設定も行われてきた。	授業の内容が最初に分かるのはとてもいいことである。ここでもおもしろそうだなと思わせるといい。	教員への指導 ・学びの道筋を明確にする、「ねらい」の設定を継続指導する。 ・「深い学び」に繋がる「振り返り」の設定も継続指導する。
	週一回、特別支援教室専門員、特別支援教育Co、SC、養護教諭、学年主任、管理職で「教育相談」の会議を開き、情報共有と指導方針・内容を確認する。	4	4	スクールカウンセラーが来校する毎週火曜日、2校時に校長室において教育相談の会議を開き、情報交換とその共有、そして対策等を打ち出してきた。	コロナ禍で心の屈折がいじめにつながらないよう、生徒一人ひとりをよく見てもらいたい。生徒が悩み事を相談できる環境がもっとあるといい。	毎週一回の教育相談の会議設定の継続。SCの面接体制の充実を図る。
本校の特色	・生徒会の主導で、2学期より月1回、空堀川の清掃活動を実施する。	2	2	コロナ禍において、休校期間、分散登校期間、非常事態宣言下等により、また、空堀川の整備工事も重なり、生徒会としては今年度1回の活動しかできなかった。しかし、1年生のSDGsの活動において2回、清掃活動を行うことができた。	今後も継続をお願いしたい。	第一学年のSDGsの取組継続。生徒会の空堀川清掃の継続。
	・年間を通して朝読書を実施するとともに、学期ごとの読書推進月間を設定する。(11月、2月)	4	4	予定通り、読書月間を2カ月設けて、読書活動を推進できた。生徒の読解力や表現力は抜群に向上し、都のトップレベルまでに這い上がった。	読書は大切である。継続した取組をお願いする。	6月、11月、2月の読書月間を継続。読書活動の推進強化を図る。2学期にビブリオバトルの再開。